



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <https://www.yokohama-maruu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 雅裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長兼経営企画室長 (氏名) 佐藤 彰 TEL 045-459-2921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,954	4.0	283	15.8	634	16.8	430	7.4
2024年3月期第3四半期	29,774	△4.7	244	95.4	543	20.4	400	4.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,081百万円 (△41.9%) 2024年3月期第3四半期 1,859百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	67.59	—
2024年3月期第3四半期	62.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,039	16,574	61.2
2024年3月期	22,979	15,676	68.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,536百万円 2024年3月期 15,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	26.00	26.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2025年2月6日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	39,400	2.0	350	26.3	650	13.0	420	2.6	66.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	7,261,706 株	2024年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	894,898 株	2024年3月期	894,898 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	6,366,808 株	2024年3月期3Q	6,366,839 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(収益認識関係)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、根強い円安による物価上昇が続いているものの、雇用・所得環境の改善により、個人消費は着実に回復しております。一方、世界では中東やウクライナ問題のほか、低迷する中国経済の先行きや米国の新大統領による各種政策の動向といった不透明な要素が多く、わが国へ与える影響も見通せない状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、旺盛なインバウンド需要を背景に、業務筋向けの商材が好調であったほか、中国を除く海外向け商材も順調に推移いたしました。しかしながら、海水温の上昇などによる漁獲量の減少、円安による加工原料価格の高騰、エネルギー価格の高止まりや「物流2024年問題」を要因とした物流コストの上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは2023年度から2025年度までを対象期間とした「横浜丸魚グループ中期経営計画2023～Rebirth～」の2年目にあたり、経営の中で大切にしている「水産卸売事業を通じた社会貢献」「長期的視点の経営」「人を大切にする経営」をベースに、経営課題を踏まえた4つの施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,954百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,180百万円（前年同期比4.0%増）の増収となりました。利益に関しましては、営業利益は283百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ38百万円（前年同期比15.8%増）、経常利益は634百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ91百万円（前年同期比16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は430百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ29百万円（前年同期比7.4%増）、それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は24,726百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,395百万円（前年同期比6.0%増）の増収となり、営業利益も131百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ38百万円（前年同期比41.9%増）の増益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は5,838百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ245百万円（前年同期比4.0%減）の減収となり、営業利益も24百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ24百万円（前年同期比49.5%減）の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は137百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ14百万円（前年同期比11.9%増）の増収となり、営業利益も96百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ15百万円（前年同期比19.5%増）の増益となりました。

(運送事業)

売上高は250百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ15百万円（前年同期比6.6%増）の増収となり、営業利益も31百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ8百万円（前年同期比38.0%増）の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、27,039百万円と前連結会計年度末に比べ4,060百万円増加しました。この主な要因は、売掛金の増加2,344百万円、商品及び製品の増加498百万円、時価評価等による投資有価証券の増加1,045百万円によるものであります。

負債は、10,464百万円と前連結会計年度末に比べ3,161百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の増加2,404百万円、短期借入金の増加550百万円、投資有価証券の時価評価等に伴う繰延税金負債の増加306百万円によるものであります。

純資産は、16,574百万円と前連結会計年度末に比べ898百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加264百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加644百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,706	2,955
売掛金	3,701	6,046
商品及び製品	1,255	1,754
その他	41	84
貸倒引当金	△499	△562
流動資産合計	7,206	10,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,756	1,724
土地	2,167	2,167
リース資産(純額)	148	137
その他(純額)	51	49
有形固定資産合計	4,123	4,078
無形固定資産		
ソフトウェア	41	30
リース資産	35	28
その他	10	10
無形固定資産合計	87	69
投資その他の資産		
投資有価証券	11,448	12,493
長期貸付金	8	0
破産更生債権等	351	290
繰延税金資産	8	8
その他	78	89
貸倒引当金	△334	△268
投資その他の資産合計	11,561	12,613
固定資産合計	15,772	16,761
資産合計	22,979	27,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,947	5,352
短期借入金	250	800
1年内返済予定の長期借入金	80	2
未払法人税等	50	105
引当金	55	16
その他	466	432
流動負債合計	3,850	6,709
固定負債		
長期借入金	1	—
退職給付に係る負債	367	369
資産除去債務	27	27
繰延税金負債	2,675	2,981
その他	380	375
固定負債合計	3,452	3,754
負債合計	7,302	10,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	8,402	8,667
自己株式	△800	△800
株主資本合計	9,546	9,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,080	6,724
その他の包括利益累計額合計	6,080	6,724
非支配株主持分	48	38
純資産合計	15,676	16,574
負債純資産合計	22,979	27,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	29,774	30,954
売上原価	27,270	28,339
売上総利益	2,503	2,614
販売費及び一般管理費	2,258	2,331
営業利益	244	283
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	296	346
その他	16	8
営業外収益合計	313	356
営業外費用		
支払利息	4	5
債権放棄損	10	—
その他	0	0
営業外費用合計	15	5
経常利益	543	634
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	3	6
リース解約益	23	—
特別利益合計	26	6
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	22	3
投資有価証券売却損	7	7
減損損失	31	—
解体撤去費用	17	—
特別損失合計	78	10
税金等調整前四半期純利益	491	630
法人税、住民税及び事業税	75	170
法人税等調整額	△0	22
法人税等合計	74	192
四半期純利益	416	437
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	400	430

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	416	437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,443	644
その他の包括利益合計	1,443	644
四半期包括利益	1,859	1,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,844	1,074
非支配株主に係る四半期包括利益	15	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	152百万円	138百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	6,411	—	—	—	6,411	—	6,411
冷凍	8,449	—	—	—	8,449	—	8,449
塩干加工他	8,470	—	—	—	8,470	—	8,470
水産物一般	—	6,084	—	—	6,084	—	6,084
運送	—	—	—	235	235	—	235
顧客との契約から生じる収益	23,331	6,084	—	235	29,651	—	29,651
その他の収益	—	—	122	—	122	—	122
外部顧客への売上高	23,331	6,084	122	235	29,774	—	29,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,716	85	22	81	1,906	△1,906	—
計	25,047	6,169	145	317	31,680	△1,906	29,774
セグメント利益	92	49	81	22	246	△1	244

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産等賃貸事業」セグメントにおいて、用途変更の意思決定に伴い除却を実施した資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額31百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	6,747	—	—	—	6,747	—	6,747
冷凍	8,130	—	—	—	8,130	—	8,130
塩干加工他	9,848	—	—	—	9,848	—	9,848
水産物一般	—	5,838	—	—	5,838	—	5,838
運送	—	—	—	250	250	—	250
顧客との契約から生じる収益	24,726	5,838	—	250	30,816	—	30,816
その他の収益	—	—	137	—	137	—	137
外部顧客への売上高	24,726	5,838	137	250	30,954	—	30,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,572	62	20	93	1,748	△1,748	—
計	26,299	5,900	158	344	32,702	△1,748	30,954
セグメント利益	131	24	96	31	285	△1	283

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等の注記)に記載のとおりであります。